

8001 娘が結婚して何年かして、ある日・・・

娘が結婚して何年かして、ある日、私の家に帰って来た。わが家に滞在している間のある日、彼女は私に笑いかけながら、

「どう？色っぽいでしょう？」
と、言ったものだ。

湯上がりだったか、新しい浴衣でもまとった時だったか、私はもう忘れた。多分、私はうんと肯いて苦笑したと思うが、——色っぽいという形容は、花ならばひらこうとするところの、危険をふくんだエロティシズムの中に存在するものだと、口には出さずに考えた記憶がある。

澤野久雄（『婦人公論』より）

〔許容訳例〕

One day, some years after she got married, my daughter came back home. During her stay at our house she said to me with a smile. "Look, don't you think I'm sexy?"

I don't remember now, but it was probably after she bath or when she was wearing a new bathrobe. I probably nodded and smiled wryly. The expression sexy suggests eroticism with a touch of danger, just like a flower about to bloom. I remember that I thought so to myself.

〔翻訳例〕

On one occasion some years after her marriage, our daughter came to stay with us for a while. One day, she suddenly said to me with smile, "Look, don't you think I'm attractive?"

She was probably just fresh from the bath, or had put on a new cotton kimono or something—I've forgotten by now. I imagine I just nodded with an embarrassed grim, but I remember thinking to myself that the term "attractive" should suggest something mildly erotic with a hint of danger, like a flower just before it blooms.

■娘が結婚して何年かして、ある日、私の家に帰って来た。（8001）

★「娘が結婚して何年かして」は *some[a few] years after her marriage[she got married]* でしょう。ここでは *several* は使えません。several years というのは期間が長いことを強調したいときに使うのです。たとえば、*They had a baby several years after they got married.* と言えば、「結婚してかなりたってから子供ができた」ということです。

★「ある日」は、すぐ後にまた「ある日」が出てくるので、ここは「こういうこともあった」という意味で *on one occasion* として、後の方を *one day* としましょう。

★「私の家」ですが、英語では、妻が亡くなつて一人で暮らしている場合は別ですが、妻が健在なら *my house[home]* とは言いません。事情はわからないので、*our house[home]* にしておきましょう。

★「（娘が）帰って来た」ですが、一度結婚してしまえば、決して「帰る」という言い方はしません。ここは、後に「我が家に滞在して・・・」とありますから *came to stay with us* と

するといいのですが、これだけだと長いこと滞在したと考えられてしまうので、came to stay with us for a while とすると、結婚した娘が実家に来たという日本語のニュアンスを出すことができます。

■ わが家に滞在している間のある日、彼女は私に笑いかけながら、

「どう？色っぽいでしょう？」

と、言ったものだ。(8001)

★「我が家に滞在している間のある日」は、すでに to stay for a while としたので、単に one day でいいのですが、もう少し日本文に忠実に変換するとしたら one day during her stay もいいでしょう。

★「笑いかけながら（娘は言った）」は(she said to me) with a smile でいいでしょう。

★「どう？」は「見て」という感じで"Look."です。なお、"Look here."は駄目です。これは、怒ったときとか、あきれたときとかに使うことが多く、日本語で「いいか、よく聞くんだ！」という言い方をしますが、その「いいか」に当たる言葉です。

★「色っぽいでしょ？」の「色っぽい」ですが、次で花を引き合いに出していますから、作為なく、内からにじみ出る感じに使うことのできる attractive がいいと思います。これは、前後の関係で微妙にニュアンスが違ってくる言葉で、たとえば、小説家のことを He has a very attractive style.といえれば、「魅力的だよ」という意味ですが、She's still attractive in her forties.と言えば「四十代になっても色っぽい〔色気がある〕」と sexual attractive の意味になります。ただし、その意味で She's attractive.とは言いますが、He's attractive.とは使いません。ついでに関連語をいくつか見ておきますと、coquettish は横目を使うとか作為的態度について言う言葉です。appealing は精神面を言うときに使うますから sexual の意味にはなりません。voluptuous は官能的という意味で、いくらか太っているイメージになります。ここでは使えません。amorous には「いつも肌に触れたがる」というような感じがあります。

★「・・・と言ったもんだ」は「言った」なら She said to me ですが、「もんだ」は、たぶん、「今までそんなことを言う娘とは思ってもいなかったのに、突然思いもしない言葉だったので驚いた」という感じを込めたのでしょう。She suddenly said to me…でその感じが出せると思います。

■湯上がりだったか、新しい浴衣でもまとった時だったか、私はもう忘れた。(8001)

★「湯上がり」は after having a bath とか after her bath とかですが、ここの情景には物足りません。be fresh from the bath がぴったりです。

★「浴衣」は、用例辞典には yukata; Japanese summer kimono; bathrobe などがでていますが、何となく商品紹介のような感じで、ここでは cotton kimono ぐらいでいいでしょう。

★「まとう」は put on とか wear です。

●「・・・だったか、・・・だったか、私は忘れた」は、そのまま訳すと I have forgotten whether she… or she…となります。しかし、これでは、すぐ前の「・・・といったものだ」(she suddenly said to me)と「忘れた」(I have forgotten…)との関連がわかりません。ここは、日本文と同

じ配置、つまり「・・・と娘が言って驚いたが、娘が・・・したときだったか、・・・したときだったかのだが、もう忘れた」という論理的な流れを日本語に即しながら英語に訳さなければなりません。それで、She was probably just fresh from the bath, or had put on a new cotton kimono or something—I've forgotten by now.とします。by now はなくともよいのですが「もう」の意味を表します。

■多分、私はうんと肯いて苦笑したと思うが、(8001)

★「うんと肯く」は nod です。

★「苦笑する」は、普通 smile wryly ですが、smile というのは眼のあたりまでの明るい笑いです。ここでは grim を使いましょう。これは、どちらかというと男性的で、顔の下半分の、極端に言うと、相手との間の暗黙の了解、つまり共謀者のような感じの笑いです。ここでは「娘に突然そんなことを言われて、父親としてどう返事をしていいのか戸惑った」という感じなので wry smile より embarrassed grim の方がよさそうです。

●「私はうんと肯いて苦笑した」は「・・・して・・・した」ですから and で結んでもいいのですが、一文中に {単位情報} が二つあるので、一つを「句」に変えて I nodded with an embarrassed grim と訳すこともできます。

★「・・・したと思うが・・・」は、前に「もう忘れた」と言っているのですから I think…ではなく I imagine (という気がする) を使うといいと思います。あるいは I may have nodded…という表現も可能です。

■色っぽいという形容は、花ならばひらこうとするところの、危険をふくんだエロティズムの中に存在するものだと、口には出さずに考えた記憶がある。(8001)

●この日本文はすっと入ってきません。「・・・という形容は・・・の中に存在する」という言い回しがおかしいのです。「形容」と「存在」も関係が合わないので、多分、「色っぽいというのは、花ならばひらこうとするところの、危険をふくんだエロティズムの中に存在するものだ」と「色っぽいという形容は、花ならばひらこうとするところの、危険をふくんだエロティズムに使うものだ」が混合したのでしょう。ここでは「色っぽいという言葉は、本来なら、花ならばひらこうとするところの、危険をふくんだエロティズムに言うものだ」と解釈します。

★「色っぽいという形容」の「形容」は「言葉」とか「表現」とか「形容詞」という意味にとるしかないでしょう。the term [adjective; expression] “attractive”です。

★「花ならばひらこうとするところの」は「いままさに開こうとする花のよう」と言い換えて like a flower just before it blooms とか just like a flower about to bloom でしょう。

★「危険をふくんだエロティズム」ですが、そのまま eroticism は使えないで、something erotic とするしかないのですが、このままでは「若い娘から意識なくにじみ出る色気」には強すぎるので something mildly [slightly] erotic とします。

★「ふくんだ」は「必ずしも危険だとは断言できないけれど場合によっては危険な方向に行ってしまうかもしれない」というわけですから with a hint [touch] of danger としましょう。

- ★ 「・・・の中に存在するものだ」は主語を補って簡潔にすると「色っぽいとは、本来、危険をふくんだエロティシズムということなのだ」ですから The term "attractive" suggests[implies]…ですが、日本文には「本来はそういう意味になるんだ」という含みがありますから The term "attractive" should suggest[imply]…とした方がいいと思われます。
- ★ 「・・・と、口には出さずに考えた」は thought to myself that…(<said to myself that…)
- が使えます。
- ★ 「・・・した記憶がある」は remember …ing です。